

フローリングのメンテナンス

今回は意外に問い合わせの多いフローリングのメンテナンスについて取り上げます。

 無垢フローリング、3層、複合問わず、表面の最終仕上げに合わせてメンテナンスを行ってください。

普段のお手入れ

無塗装品 ⇒ そのまま使っている方は非常に少ないと思ういますので、あえてはしません。

UVまたはPU塗装 ⇒ 絞った雑巾がけで十分 ちょっと気になるな場合 クイックルワイパーや中性洗剤を薄めて汚れを取ったあと、絞った雑巾がけをしてください。

オイル塗装 ⇒ UVまたはPU塗装と同じで大丈夫ですが、油分がなくなると手荒れと同じで表面の色が抜けたり、かさかさした感じになるので、油分を足す意味でオイル塗装にあった専用メンテナンス品を使用して下さい。
具体的には、塗料メーカーさんが販売されているものやメンテナンス用のブランド品がありますので、一部ですが下記紹介しておきます。それぞれ特徴がありますので、詳細を確認の上使ってみて下さい。

Osmo オスモ



ウォッシュケアー

Bona ボナ



オイルリフレッシュャー

Auro アウロ



NO.431

Livos リボス



グラノスNO.559

定期的なメンテナンス

UVまたはPU塗装は普及している一般合板フロータイプとメンテナンス方法は変わりませんので、市販のメンテ用品を使っても問題ありません。どれくらいの期間で使うのがよいかとよく聞かれますが、正直この点については、各個人の使い方、またキレイ好きかということもありますので、個人で判断すべきかと思います。メンテナンス用品の説明には、頻度について書いていますが、販売を促進する意味合いもありますので、あくまで目安として下さい。

オイル塗装についても、使用条件により、大きく変わります。ペットを飼われていたり、アクティブな生活を比較的にされている方は汚れやすいかと思われますので、上記の普段のメンテナンス以外で年単位を目処にクリヤーのオイルがけをすることで、撥水効果や生地への汚れ防止が持続されます。できる限り同じブランドのものを使うことをおすすめ致します。